



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1363 2023年7月10日

ARIBの動き

## 電波環境協議会 2023年度総会を開催

ARIBが事務局を務める電波環境協議会（略称：EMCC）の2023年度総会が、学識経験者、関係省庁、独立行政法人、企業団体等から43名の出席のもと、7月3日(月)にMEETING SPACE\_AP 虎ノ門で開催されました。



電波環境協議会総会の様子

冒頭、福地一会長（首都大学東京(現 東京都立大学)名誉教授）から、2019年以来4年ぶりの対面での開催となったこと、6月1日の電波の日には「医療機関における電波利用推進委員会」委員長である滋慶医療科学大学大学院客員教授の加納隆氏が、総務大臣表彰を受賞されたことなどが紹介されました。その他、昨今電波利用に関する技術が非常に発展してきていることや、電波秩序を保っていかないと新しいシステムを開発しても社会に受け入れられないことなどのお話がありました。

また、当協議会の副会長である総務省総合通信基盤局電波部長の豊嶋氏よりご挨拶いただき、電波利用における将来に対する期待が非常に高まってきており、電波をより安全・快適に使っていく環境をしっかりと作り上げることが必要であることなどが述べられました。

その後、福地会長が議長に就き、2022年度の事業報告及び収支決算報告、2023年度の事業計画及び収支予算、並びに役員選任について審議が行われ、いずれも議案どおり議決されました。役員選任では、福地現会長は顧問となり、新たに東洋大学教授の藤野義之氏が会長に就任されました。

総会の議題審議とともに行われた電波環境協議会表彰では、大成建設(株)の遠藤哲夫氏、(一社)情報通信ネットワーク産業協会の電磁妨害対策技術委員会委員(NTT アドバンステクノロジー(株))の服部光男氏、(国研)情報通信研究機構の藤井勝巳氏、日野自動車(株)の水谷博之氏の4名の表彰を行いました。

## 「ITS 情報通信システム推進会議」2023 年度総会

ARIB が事務局を務める ITS 情報通信システム推進会議（以下、ITSF）の 2023 年度総会が、6 月 29 日(木)に明治記念館で開催されました。総務省を始め ITS 関連省庁・団体、一般・特別会員から約 60 名が参加し、ITSF 会長の佐々木眞一氏からの挨拶及び総務省総合通信基盤局電波部長の豊嶋基暢氏による来賓ご挨拶に続き、「2022 年度の事業報告及び収支決算」、「2023 年度の事業計画及び収支予算」、「2023 年度運営委員の選任」、「2023 年度役員選任」の審議が行われ、議案どおり議決されました。

佐々木氏の開会挨拶では、昨今の様々な世界情勢や新型コロナウイルス状況の変化を踏まえた実会場での総会開催などへの思いに続き、ITSF 設立から現在までの様々な活動の振り返りと関係者のご尽力への感謝、ITSF 設立当時とのモビリティを取り巻く様々な状況の変化を踏まえた幅広い取組や新たな取組の検討に向けて、関係省庁や ITS 関連団体、企業など幅広い方々のより一層のご支援ご協力をお願いしたいとお話がありました。

豊嶋氏の来賓ご挨拶では、多様なニーズに応える新しいモビリティサービスや自動運転の実現に向けた交通分野や ITS の“多様化”“高度化”“社会実装”の必要性や、国内外の状況を踏まえた総務省「自動運転時代の“次世代 ITS 通信”研究会」での ITS 用周波数の追加的な割当の検討、政府全体として策定中の「デジタルライフライン全国総合整備計画」における自動運転関連の取り組みの紹介についてお話いただくともに、総務省においては安全運転支援・自動運転の早期実現により未来社会がより良くなるよう努めたいため、ITS 無線通信技術の高度化や普及の推進母体として引き続き ITSF の尽力を強く期待したいとお言葉がございました。



ITSF 佐々木氏



総務省 豊嶋氏



ITSF 小花氏

2022 年度の事業報告では、Web 会議システムを活用しつつ専門委員会・WG 等を定期的  
に開催し、安全・安心や利便性向上に資する ITS 無線システムの実用化、普及促進に向けた  
活動および自動運転で必要とされる無線通信方式の検討などを推進したことが報告されま  
した。その詳細として、モビリティや社会課題の変化に対する「今後のビジョンとアクショ  
ンプラン」の策定、SIP・総務省事業の受託者と連携した V2X システムの通信プロトコルや  
ITS プラットフォーム拡張の ARIB 規格化提案などの検討、国際標準化活動として ITU-R  
報告書「ITU-R M.[CAV]-Connected Automated Vehicles」や AWG「APT 加盟国における  
ミリ波 ITS アプリケーション」に対する提案などが報告されました。また国際協調活動・普  
及促進活動として、ITS 世界会議ロサンゼルスでのパネル展示や総務省セッション支援や、  
例年開催している VSC セミナーでの ITS 無線システムや自動運転・安全運転支援に関する  
国内外の動向や推進会議における検討状況の報告に加え、欧米の ITS 専門家を招いた ITS  
radiocommunication experts meeting の開催などが報告されました。

2022 年度事業報告後、上記のビジョンとアクションプランについて ITSF 企画部会部会長の小花貞夫氏から詳細の説明が行われました。

2023 年度の事業計画として、協調型自動運転などに向けた関係者と連携した技術検討と標準規格提案、自動運転や ITS 無線に関する国際標準化の推進、海外の ITS 専門家との連携強化に加え、ビジョン・アクションプランに則る新たな活動の検討と推進などが説明されました。

また、2023 年度の会長は佐々木氏に代わりトヨタ自動車株式会社 Senior Fellow の山本圭司氏、副会長に東京大学名誉教授の今井秀樹氏、会計監査にソフトバンク株式会社渉外本部電波政策統括室制度開発室長の佐野弘和氏が選任されました。

新会長の就任挨拶として、山本氏から前会長の佐々木氏への御礼、ITSF 設立から 24 年間での情報通信やモビリティを取り巻く環境の大きな変化や今後の萌芽的な技術の生起も踏まえ、関係者の皆様と連携し「人」と「車」と「道路」を結ぶ「情報通信」の研究開発と標準化、並びにこれらを担う人材育成に取り組むと共に、モビリティ社会が直面する様々な課題に関係府省庁・各種関連団体と連携して取り組むべく、会員の皆様へ一層のご支援ご協力をお願いしたいと述べられました。



トヨタ自動車株式会社  
山本氏



総会風景

総会後は 4 年ぶりに懇親会を開催し、山本新会長を中心に関係省庁・団体を含む ITS 関連者と推進会議会員が交流を深めました。

## ITU-R WP7A 会合における時刻標準関係の概要報告

WP7A (Working Party 7A : 7A 作業部会) は、ITU-R の SG7 (Study Group 7 : 第 7 研究委員会) の下に設置された専門家会合で、時刻信号及び標準周波数の配信について検討しており、通常年 1 回程度開催されています。

### 1. 会合の概要

日 程 : 2023 年 6 月 26 日 (月) ~ 6 月 30 日 (金)

場 所 : フランス パリ郊外 国際度量衡局本部 (Web 会議併用)

参加者 : 各国、各団体から約 50 名が参加 (日本は、総務省基幹・衛星移動通信課国際係長の青野海豊氏を団長に 5 名が参加。当会から横山次長が参加。)

## 2. 時刻信号の配信に関する主要結果

現行の協定世界時（UTC）は国際単位系に基づく時刻であり、地球の自転に基づく時刻（UT1）との差が±0.9 秒以内になるようにうるう秒を挿入して調整しています（この UT1 と UTC の差のことを「UT1・UTC 差」と言います）。しかし、うるう秒挿入は不定期に発生し、その都度、さまざまな社会インフラシステムの時計を 1 秒ずらさなければなりません。これは、単に不便であるだけでなく、時刻が不連続となるため、高度に進展した ICT に対して不具合を引き起こす恐れがあります。このため、昨年（2022 年）11 月にメートル条約関係の総会（国際度量衡総会）が開催され、2035 年までに UT1・UTC 差の許容上限値を現行の 0.9 秒から、より大きな値に引き上げることによって、UTC のうるう秒調整を実質的に廃止し、連続時系に移行することが決定されました。

国際度量衡総会の決定を受けて、今回合会では、今後、WP7A で研究する課題について検討されました。許容上限値が引き上げられた新 UTC において UT1・UTC 差の値を配信する場合の精度や可用性の要件、また配信技術や配信フォーマットについて研究するとの案が取りまとめられました。この研究課題案は本年 10 月に開催される SG7 会合にて審議されます。

## 3. 次回合会予定

次回 WP7A 合会は 2024 年 4 月に開催予定です。



国際度量衡局の本部

### ARIB 内合会（7 月 10 日～7 月 14 日）予定

- |                                    |                |           |
|------------------------------------|----------------|-----------|
| 7 月 12 日（水）： 放送国際標準化ワーキンググループ      | 放送国際標準化 WG&SWG | Web 会議    |
| 7 月 12 日（水）： 第 308 回業務委員会          |                | Web 会議併用  |
| 7 月 13 日（木）： 第 196 回 ARIB 電波利用セミナー |                | オンラインセミナー |

### 国際合会（7 月 10 日～7 月 14 日）予定

予定している合会はありません。

**「自動運転時代の“次世代の ITS 通信”研究会 中間取りまとめ（案）」  
に対する意見募集**

**【令和 5 年 6 月 30 日発表】**

総務省は、自動運転時代の“次世代の ITS 通信”研究会（座長：森川 博之 東京大学大学院工学系研究科教授）においてまとめた「中間取りまとめ（案）」について、令和 5 年 7 月 1 日（土）から同年 7 月 21 日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和 5 年 6 月 30 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**無線設備規則の一部を改正する省令案等に関する意見募集  
－2.4GHz 帯無線 LAN 等の技術基準及び試験方法の見直しに向けた制度整備－  
【令和 5 年 6 月 30 日発表】**

総務省は、2.4GHz 帯無線 LAN 等の技術基準及び試験方法の見直しにより、欧米基準試験データ等を活用可能とする制度整備を図るため、技術基準を定める省令及び特性試験の試験方法を定める告示の改正案を作成しましたので、令和 5 年 7 月 1 日（土）から同年 7 月 31 日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和 5 年 6 月 30 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**「無線システム普及支援事業費等補助金  
（民放ラジオ難聴解消支援事業）」に係る提案の公募**

**【令和 5 年 7 月 4 日発表】**

総務省は、「無線システム普及支援事業費等補助金（民放ラジオ難聴解消支援事業）」に係る公募を令和 5 年 7 月 4 日（火）から同年 7 月 25 日（火）12：00（必着）まで行っています。

詳細については [【令和 5 年 7 月 4 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**「無線システム普及支援事業費等補助金  
(地上基幹放送等に関する耐災害性強化支援事業)」に係る提案の公募**  
**【令和5年7月4日発表】**

総務省は、「無線システム普及支援事業費等補助金（地上基幹放送等に関する耐災害性強化支援事業）」に係る公募を令和5年7月4日（火）から同年7月25日（火）12：00（必着）まで行っています。

詳細については [【令和5年7月4日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**簡易無線局の開設区域を定める告示案に係る意見募集**  
**【令和5年7月6日発表】**

総務省は、簡易無線局の開設区域を定める告示案について、令和5年7月7日（金）から同年8月7日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和5年7月6日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**電波法施行規則及び無線設備規則の一部を改正する省令案等に係る意見募集  
— 一時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の高度化等  
に係る制度整備 —**  
**【令和5年7月6日発表】**

総務省は、電波法施行規則（昭和25年電波監理委員会規則第14号）及び無線設備規則（昭和25年電波監理委員会規則第18号）の一部を改正する省令案等について、令和5年7月7日（金）から同年8月7日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和5年7月6日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)